

総 会

2018 年度定時総会を開催

2018年6月に[2018年度定時総会]を開催しました。昨年度に引き続き、会員の繁忙や参集する時間と経費等にかかる負担の軽減を図るため、今年度の定時総会もメール及び郵送による開催といたしました。

6月19日(火)付で定時総会の開催通知と議案に関する資料を正会員各位に送信し、以降6月28日(木)までに議決権行使書の提出を求めました。

審議事項は以下のとおりです。

- ・第1号議案：2017年度事業報告について
- ・第2号議案：2017年度収支予算報告について
- ・第3号議案：2018年度収支予算案について
- ・第4号議案：2018年度事業計画について

2018年6月1日現在の正会員数309名中、66名から議決権行使書の提出がありました。書面による議決権の回答がなかった者については、会長に一任するものとし、過半数以上の賛成を得て承認されました。

2017年度収支決算及び2018年度収支予算は当会誌巻末をご覧ください。

実施事業

研究会誌『文化財建造物研究 / 保存と修理』の刊行

2018年3月末日に、研究会誌『文化財建造物研究 / 保存と修理』Vol.3 [2018] を刊行しました。

第3回 研究発表会を開催

2018年11月10日(土)に、国立文化財機構東京文化財研究所セミナー室において、「第4回研究発表会」を開催いたしました。当研究会単独での開催としては3年目となります。当日は66名の出席者がありました。

今回の研究発表会では全体としてのテーマを統一せず、発表者各自の専門分野に基づいた多様な内容の発表がなされました。

発表等の概要は次のとおりです。
会 場：東京文化財研究所地下1階セミナー室

開催時間：10:00～16:00

[基調講演]

「煉瓦積み技法の保存すべき価値を考えるー標準設計を実現する構法と工法の工夫ー」

長谷川 直司(国土交通省国土技術政策総合研究所シニアフェロー)

[研究・事例報告]

1. 「近代化遺産の保存・活用に向けた調査・計画の事例ー旧佐渡鉱山採鉱施設の場合ー」

齋賀 英二郎(文化財建造物保存技術協会技術職員)

2. 「楽しくなければ闘わないー三階建養蚕住宅に集う人たちー」

和田 祐之(明延近代鉱山研究所 / 養父市伝統的建造物群保存地区審議会委員)

3. 「臨江閣の保存活用」

村田 敬一(群馬県文化財保護審議会副会長)

4. 「横須賀市立万代会館保存問題についてー保存活用に対する要望から具体的提言へー」

大野 敏(横浜国立大学教授)

5. 「文化財建造物の屋根瓦調査提出

書類の規格化の提案」

寺本 都好(網渡邊商店取締役)

[質疑応答、意見交換]

司会・進行：大野 敏(幹事)

研究発表会終了後に開催された情報交換会には、30名を超える方々が参加され、にぎやかに情報交換と人的交流が行われました。



写真上：発表中の様子
写真下：質疑応答の様子

現場ワークショップ

「現場ワークショップ」は、実際の保存修理工事現場において修理工事の状況を見学し、具体的な事例を通じて文化財建造物の保存修理に関し意見交換を行うことにより、会員の調査研究の向上に資することを目的としています。

第8回現場ワークショップ 旧国立公衆衛生院で開催

日 時 2018年7月21日(土)
13:00～16:00

会 場 港区郷土歴史館等複合施設
「ゆかしの杜」(旧国立公衆衛生院)

参加者 25名

概 要 港区図書文化財課のご理解

とご協力により開催されました。同課文化財係学芸員の川上悠介様、同係係長・大江真二様から建物の歴史や工事に際しての考え方などをお話しいただきました。また、施設のオープンを目前に控え内部工事を終えた館内をご案内いただき、将来の文化財指定を視野に入れながらも一般公共建築としての安全基準を満たす今回の工事の要点を伺いました。

見学終了後の意見交換では、改修工事に至る経緯や、耐震対策、コンクリート建造物の保存について等、活発な話し合いが行われました。



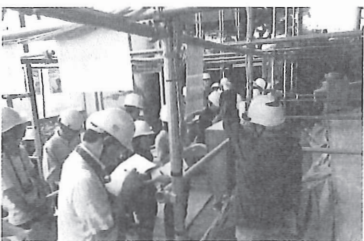
第8回現場WS（旧国立公衆衛生院）にて

第9回現場ワークショップ 国宝當麻寺西塔にて開催

日時 2018年10月6日（土）
13:30～16:00

会場 當麻寺西塔修理工事現場
参加者 29名

概要 當麻寺のご理解と奈良県文化財保存事務所のご協力により開催されました。同事務所當麻寺出張所主任の山下秀樹様から、歴史と建築背景をお話しいただきました。修理現場では、修理工事における発見や部材の扱い等について、現物を目の前にしながら詳細に伺いました。



第9回現場WS（當麻寺西塔）にて

その後の本堂や金堂・講堂などの見学を通して、構造や彩色などに関する意見交換がなされました。

第10回現場ワークショップ 京都市本庁舎で開催

日時 2019年3月16日（土）
13:30～16:00

会場 京都市本庁舎改修工事現場
参加者 32名

概要 京都市のご理解と、大成J.V.及び日建設計のご協力により開催されました。日建設計の西澤崇雄様、同・佐賀淳一様、大成・吉瀬・吉村特定建設工事共同企業体の長谷洋司様、同・柿原良信様から、建築の背景や今回の工事の要点をお話しいただきました。

未指定でありながらも本庁舎の価値を損なわない修理を目指していること、背後に新築する新庁舎との機能分配や動線計画、大規模な免震装置導入への工夫などを伺いました。

意見交換では、既存建具の扱いや当時の内装、免震の取り組みなどに関する意見交換がなされました。



第10回現場WS（京都市庁舎）にて

文化財建造物保存修理 ワークショップ

「文化財建造物保存修理ワークショップ」は、文化財の修理技術や活用技術等に関する「文化財保存・復元展」（一般社団法人能率協会主催）の開催期間中に、保存修理事業の実際の紹介を通じ保存修理工事や活用計画等にかかる今日のかつ具体

的な課題等について、来場者も交えた幅広い意見交換を行うものです。

第4回文化財建造物保存修理 ワークショップを開催

歴史的建造物の修理にみる、いわゆる今日にいう伝統技術は、後世の修理の経験による蓄積や、その際の発見や知見によって成り立っており、現代の保存修理においても、それら伝統技術とともに当代の最新技術が応用されています。

今回は、伝統技術を継承・保存される技術者に、多様な修理手法の紹介と今後の課題等、事例を通して報告いただき、その考え方と方法について広く討論の場とすることを目的に開催しました。

テーマ 「修理技術の現状と課題」

日時 2018年7月20日（金）
13:30～16:00

会場 東京ビッグサイト会議棟
605号室

参加者 84名

[事例報告]（各発表30分）

1. 「平成29年度『石垣研修』実施報告」
佐藤 明生（公益財団法人文化財建造物保存技術協会技術職員）
2. 「歴史的建造物における屋根瓦の調査とその成果」
芦田 淳一（総持寺寺史編纂調査研究員）
3. 「重要文化財小川家住宅（二條陣屋）修復工事—色土壁修復における材料選定のこだわり」
佐藤 ひろゆき（有限会社京壁井筒屋佐藤代表）
4. 「畳の修復方法を探る—知恩院本堂を事例として—」
佐竹 真彰（菱屋畳佐竹商店代表）

[意見交換]15:45～16:00

司会・進行：鳴海 祥博（幹事）

そ の 他

研究会ニュースの配信

研究会ニュースを、No.15 から
No.18 まで配信しました。